

合格者、前年度比383人増＝国家公務員総合職試験－人事院

人事院が24日に発表した2013年度国家公務員総合職試験の合格者数は1753人となり、前年度より383人増えた。競争率は12.7倍（前年度17.4倍）。女性合格者の割合は19.5%で前年度より3.4ポイント減少した。

合格者数が多い大学は、東京大454人、京都大172人、早稲田大105人、慶応大91人、東北大74人、北海道大70人の順。私大出身者の占める割合は23.4%（前年度25.3%）。法科大学院からの合格者は105人で過去最多を更新した。

民主党政権下で決まった国家公務員の採用抑制方針が3月に撤廃され、13年度試験での採用予定者数は、前年度より169人多い686人となった。採用者は26日から始まる各府省の面接で決定する。総合職試験は、旧I種試験などに代わり12年度から実施している。

◇国家公務員総合職の合格者上位20大学

(単位：人)

	13年度	12年度
1 東京大	454	412
2 京都大	172	117
3 早稲田大	105	103
4 慶応大	91	81
5 東北大	74	55
6 北海道大	70	46
7 大阪大	67	44
8 九州大	62	40
9 東京理科大	56	27
10 東京工業大	45	27
11 一橋大	38	35
12 中央大	35	23
13 名古屋大	31	20
14 大阪市立大	27	15
15 岡山大	24	30
16 神戸大	22	18
17 広島大	20	13
立命館大	20	22
19 同志社大	18	7
20 筑波大	17	7

		昼		夜		計
		法務	その他	法務	その他	
大学院進学	岡山大学法務研究科	8		2		10
	岡山大学社会文化科学研究科		2		3	5
	京都大学法学研究科(法科大学院)	2				2
	神戸大学法学研究科(法科大学院)	2				2
	東北大学公共政策大学院		1			1
	神戸大学国際協力研究科		1			1
	広島大学法務研究科	1				1
	香川大学法学研究科		1			1
	近畿大学法務研究科	1				1
計		14	5	2	3	24

		昼	夜	計
大学進学	関西学院大学 神学部	1		1

		昼		夜		計		
		国家	地方	国家	地方			
公務員	総務省	1				1		
	経済産業省	1				1		
	警察庁	1				1		
	衆議院事務局	1				1		
	地方検察庁	岡山地方検察庁	1				1	
		山口地方検察庁	1				1	
		鳥取地方検察庁	1				1	
	地方法務局	徳島地方法務局	1				1	
		長崎地方法務局	1				1	
	裁判所職員	岡山地方裁判所	2				2	
		名古屋地方裁判所	1				1	
	地方国税局	広島国税局	4				4	
	地方財務局	中国財務局	1				1	
	地方整備局	国土交通省中国地方整備局	1				1	
		四国管区警察局 香川県情報通信部	1				1	
		中国公安調査局	1				1	
		国立病院機構中四国ブロック 普通寺病院	1				1	
	県庁職員	岡山県		3		1	4	
		香川県		3			3	
		大分県		4			4	
		愛媛県		2			2	
		徳島県		1			1	
		高知県		1			1	
		福岡県		1			1	
		長崎県		1			1	
		兵庫県		1			1	
		京都府		1			1	
		県警職員	岡山県警		5			5
			京都府警		1			1
			愛知県警		1			1
			山口県立周南総合支援学校		1			1
	市役所職員	岡山市		7			7	
		倉敷市		4			4	
		松山市		2			2	
		府中市		1			1	
		福山市		1			1	
		姫路市		1			1	
		大阪市		1			1	
		京都市		1			1	
		大田市		1			1	
			早島町		1			1
	計		21	46	0	1	68	

		昼	夜	計
企業	フリーター		1	
	短期派遣			1
	岡山大学情報統括センター			1
	チャーン			1
計		1	2	3

既職  
既職

平成23年度卒

		昼		夜	
		法務	その他	法務	
大学院進学	岡山大学法務研究科	11			
	岡山大学社会文化科学研究科		5		
	神戸大学国際協力研究科		2		
	岡山大学社会医歯薬学研究科		1		
	広島大学社会科学研究所		1		
	大阪大学高等司法研究科	1			
	名古屋大学法務研究科	1			
	同志社大学法務研究科	1			
	立命館大学法務研究科			1	
		14	9	1	24

		昼		夜				
		国家	地方	国家	地方			
公務員	総務省	1						
	経済産業省	1						
	会計検査院	1						
	警察庁	1						
	参議院事務局	1						
	地方検察庁	岡山地方検察庁	1					
		広島地方検察庁	1					
		山口地方検察庁	1					
		鳥取地方検察庁	1					
		松山地方検察庁	1					
	地方法務局	広島法務局	1					
		高松法務局	1					
		高松矯正管区丸亀少女の家	1					
		名古屋矯正管区	1					
	地方国税局	刑務官	1					
		広島国税局	1					
		高松国税局	1					
		福岡国税局	1					
		東京国税局	1					
	地方財務局	国税専門官	1					
		中国財務局	3					
	裁判所職員	東京高等裁判所	1					
		東京地方裁判所	1					
		広島地方裁判所	1					
		札幌家庭裁判所	1					
		公正取引委員会中国支局	1					
		中国四国農政局			1		既職	
		皇宮護衛官	1					
	県庁職員	国家公務員Ⅱ種	1					
		岡山県		4		1	既職	
		兵庫県北播磨民局(臨時)		1				
		兵庫県		2				
		鳥取県		2				
		島根県		2				
		徳島県		2				
		京都府		2				
		東京都		2				
		広島県		1				
		山口県		1				
		香川県		1				
		愛媛県		1				
		滋賀県		1				
		和歌山県		1				
		岐阜県		1				
		県警職員	岡山県警		3		2	1名既職
			鳥取県警		1			
		市役所職員	倉敷市		4			
			福山市		4			
	岡山市			3				
	姫路市			2				
津山市			1					
神戸市			1					
柳井市			1					
下関市			1					
今治市			1					
城陽市			1					
町村職員	多津町			1				
			30	48	1	3	82	

# 難関資格に強い大学ランキング

大学別の国家試験合格者、法検、判事補の採用内定者数は各所管省庁調べ(概算は2012年)、外務省総合職員(旧I種)は国家公務員総合職(事務系)の内数

## 弁理士

順位	大学	人数
1	東京	78
2	京都	57
3	大阪	53
4	東京工業	47
5	早稲田	40
6	慶應義塾	40
7	東京理科	39
8	東北	31
9	北海道	27
10	九州	21
11	神戸	18
12	名古屋	16
13	横浜国立	15
14	立命館	14
15	千葉	13
16	中央	12
17	日本	12
18	東京農工	10

## 1級建築士

順位	大学	人数
1	日本	220
2	東京理科	139
3	芝浦工業	91
4	早稲田	90
5	近畿	62
6	東海	67
7	明治	67
8	工学院	66
9	京都工業繊維	56
10	法政	55
11	名城	55
12	大阪工業	54
13	神戸	48
14	関西	48
15	東京都市	46
16	千葉	45
17	名古屋工業	44
18	千葉工業	44
19	広島	43
20	広島工業	43
21	神奈川	42
22	関東学院	40
23	東京理機	38
24	東洋	38
25	金沢工業	37
26	東京	37
27	愛知工業	33
28	京都	33
29	東京工業	32
30	三重	32
31	九州	32

## 国家公務員 総合職 (理系)

順位	大学	人数
1	東京	97
2	京都	41
3	北海道	31
4	東京理科	21
5	大阪	16
6	九州	16
7	早稲田	15
8	東京工業	13
9	東北	11
10	東京農工	8
11	名古屋	6
12	神戸	5
13	大阪市立	5
14	慶應義塾	4
15	岡山	4
16	立命館	4
17	明治	3
18	金沢	3
19	本学の女子	2
20	広島	2

## 国家公務員 総合職 (事務系)

順位	大学	人数
1	東京	202
2	早稲田	63
3	慶應義塾	59
4	京都	45
5	東北	26
6	一橋	24
7	岡山	24
8	中央	18
9	大阪	15
10	立命館	15
11	九州	15
12	神戸	11
13	金沢	10
14	明治	9
15	大阪市立	9
16	名古屋	8
17	中央	8
18	広島	8
19	北海道	6
20	同志社	5
21	本学の女子	4
22	東京外国語	4
23	横浜国立	4

## 外務省専門職員

順位	大学	人数
1	東京外国語	6
2	慶應義塾	5
3	大阪大学	2
4	早稲田大学	2
5	東京大学	2
6	京都大学	2
7	立命館大学	2
8	神戸大学	2
9	早稲田大学	2
10	早稲田大学	2
11	早稲田大学	2
12	早稲田大学	2
13	早稲田大学	2
14	早稲田大学	2
15	早稲田大学	2
16	早稲田大学	2
17	早稲田大学	2
18	早稲田大学	2
19	早稲田大学	2
20	早稲田大学	2

## 外務省総合職員 (旧I種)

順位	大学	人数
1	東京大学	7
2	東京大学	4
3	京都大学	3
4	慶應義塾	2
5	慶應義塾	2
6	早稲田大学	1
7	早稲田大学	1

# 資格で勝負

## 難関資格に強い大学

難関資格の王者、司法試験の  
人気に陰りが見える。

2012年度の法科大学院志願者は約6500人。初年度(04年度)の約4万人から大きく減らした。この間に、すべての法科大学院が定員を削減したが、多くの大学院で定員割れが生じている。背景にあるのは、司法制度改革と法科大学院の「迷走」だ。

1949年に始まった司法試験は、合格者約500人、合格率約3%という時期が長く続き、中国の科挙にも擬せられる最難関試験と言われてきた。この構造にメスが入られたのは2001年。司法制度改革の柱として、法曹人口の拡大が掲げられ、新たな法曹養成機関として04年4月に68の法科大学院が誕生する。法律を既に学んだ人のため

の2年制の既修者コースのほか、多様な法曹を育てるために、社会人や法学部以外の出身者を想定して、3年制の未修者コースが設けられた。

新司法試験の初年度(06年)の合格者数上位5校は順に、中央大が131人、東京大が120人、慶應義塾大が104人、京都大が87人、一橋大が44人。ところが、その前年に228人でトップだった早稲田大の合格者は、なんと12人(旧試験合格者は85人)に激減してしまふ。

進む法科大学院離れ  
早稲田大学法科大学院教務担当

当教務主任の古谷修一教授は、その理由をこう振り返る。「司法制度改革の理念に忠実に従って、3000人の定員のうち、既修者コースは20人のみにしたのです」

新司法試験実施の前年の旧試験で早稲田以外にトップ5入りした東大、慶應、中央、京大はいずれも既修者が定員の6〜7割を占めていた。早稲田だけが、正直に国の方針に従ったために起きた現象のようだ。

12年度の合格者数はどうか。6年ぶりに1位に返り咲いた中央大が2位の東大より8人多い202人。早稲田も既修者の割合を増やした結果、合格者は155人で4位まで戻り、上位5大学は新司法試験実施前年のトップ5と同じ顔ぶれになった。だが、その間に法科大学院離れは進んだ。当初は司法試験合格者数を年間3千人まで増やし、合格率を70〜80%にするはずだったが、2千人から増えず、法科大学院修了生の12年度の合格率は25%程度にとどまっている。「合格者数を増やすことによって、さまざまな分野の優秀な人たちが法曹にチャレンジできる環境を整えたいというのが法科大学院協会の考えなのですが」

法科大学院協会理事で、慶應義塾大学法科大学院委員長の片山直也教授は憂慮する。

法曹の多様化は進んだのか。13年度に採用予定の裁判官、検察官の出身校をみると、やはりトップ校が上位を占めている。さらに、それぞれに300人以上の弁護士を抱える4大法律事務所(アンダーソン・毛利・友常、長島・大野・常松、西村あさひ、森・濱田松本)は東大が